

「令和2年7月豪雨」を振り返り

※気象庁では令和2年7月3日からの豪雨に対して、「令和2年7月豪雨」と名称を定め、その期間については令和2年7月3日から7月31日までとすることとしました。

※本文中の数値等データは、令和2年9月30日現在のものです。

1 気象概要（岐阜地方気象台による）

7月3日から7月14日にかけて梅雨前線（以下、前線）が本州付近に停滞していた。前線に向かって暖かく湿った空気が継続して流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となって前線の活動が活発となった。

下呂市萩原では7日から8日にかけて24時間降水量414.0ミリ、6日から8日にかけて48時間降水量557.5ミリを観測するなど、飛騨地方を中心に記録的な大雨となった。

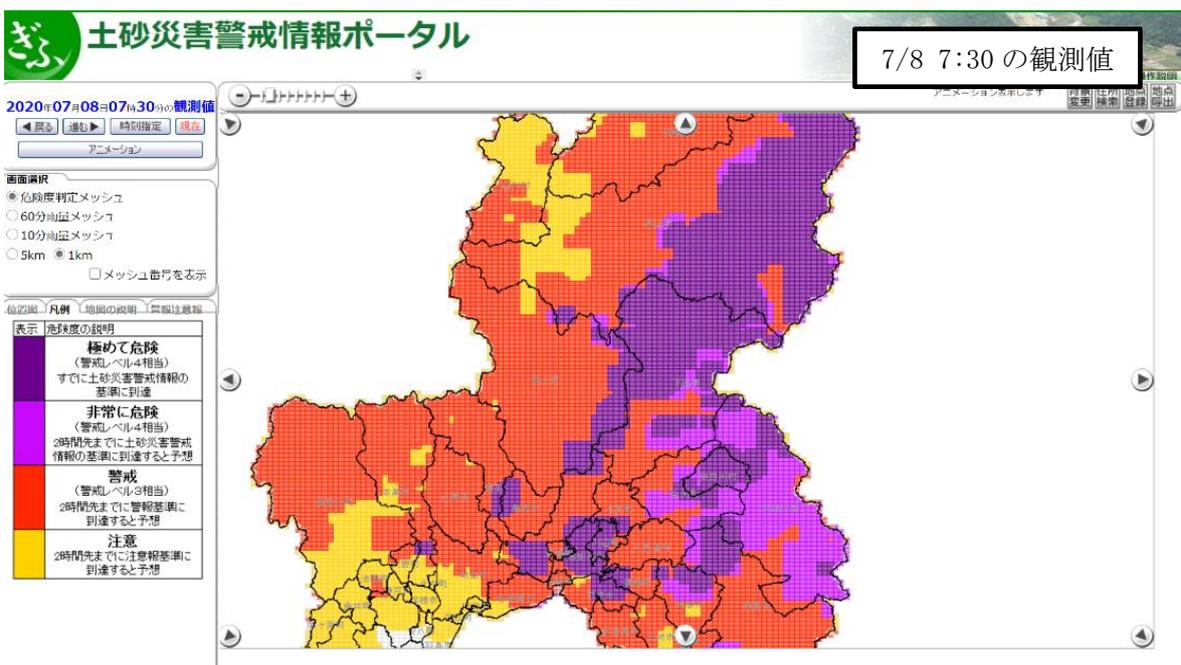
岐阜県では前線の北上に伴い、7月3日昼過ぎから雨が降りはじめ、4日未明から断続的に強い雨が降り大雨となった。5日の午前中は前線が南下し、一旦雨は小康となったが、5日夜から再び前線が北上し、広範囲で雨となり7日にかけて大雨が続いた。7日は暖かく湿った空気の流れ込みが強まり、中濃から飛騨地方を中心に断続的に非常に激しい雨となった。さらに8日は上空の寒気の影響もあって、大気の状態が非常に不安定となり、昼前にかけて広い範囲で非常に激しい雨となった。

これまでの大雨で飛騨地方、中濃地方及び東濃地方では、災害の危険度が著しく高まり、8日6時30分に飛騨市、高山市、下呂市、郡上市、中津川市及び恵那市に大雨特別警報を発表した。また、飛騨川ではこれまでの大雨により氾濫し、8日7時10分に県と共同で氾濫発生情報を発表し、これらの情報により最大級の警戒を呼びかけた。なお、8日の7時頃、発達した積乱雲の通過に伴い、加茂郡八百津町では突風が発生した。

8日の日中、雨は小康となったが、8日夜から9日朝にかけて局地的に非常に激しい雨となった。

9日夕方から10日明け方にかけては前線の活動が弱まり、雨は小康となったが、11日にかけて前線上を低気圧が東進し、湿った空気の流れ込みが強まった。11日朝にかけて中濃地方から飛騨地方では激しい雨となり、11日夕方から夜にかけては東濃地方を中心に非常に激しい雨となり、大雨となった。

12日から13日午前中は前線の活動が弱まり雨は小康となったが、13日午後から14日午前中にかけて、前線上を低気圧が東進し再び大雨となった。



2 災害等の状況

■ 気象状況

○ 気象警報等の発表状況

7月6日(月)	3:44	大雨警報(土砂災害)・洪水注意報発表
	15:30	水防団待機水位到達(3.9m)
	18:30	氾濫注意水位到達(4.5m)
7月7日(火)	6:10	避難判断水位到達(5.1m)
	6:26	洪水警報発表
	11:40	氾濫危険水位到達(5.4m)
	14:10	土砂災害警戒情報発表
7月8日(水)	1:00	飛騨川水位6.0m超
	2:30	飛騨川水位7.76m到達(最高水位)
	6:30	大雨特別警報発表
	11:40	大雨特別警報解除
7月9日(木)	4:02	洪水警報解除
	13:30	土砂災害警戒情報解除
7月11日(土)	9:20	土砂災害警戒情報発表
	18:50	洪水警報発表
	23:50	土砂災害警戒情報解除
7月12日(日)	1:45	洪水警報解除
	10:29	大雨警報(土砂災害)解除
7月14日(火)	0:06	大雨警報(土砂災害)
	21:55	大雨警報(土砂災害)解除
7月25日(土)	17:41	大雨警報(土砂災害)
7月28日(火)	23:41	大雨警報(土砂災害)解除



○ 萩原観測所での降水量

降り始めからの雨量	769.5 mm (7/3~8)
1時間降水量	71.5 mm (7/8 1:24) 7月1位(観測史上1位は72.0 mm)
3時間降水量	135.0 mm (7/8 1:50) 観測史上1位
6時間降水量	250.5 mm (7/8 2:00) 観測史上1位
24時間降水量	414.0 mm (7/8 8:00) 観測史上1位

■ 避難状況

○ 避難情報発令の状況

7月6日	9:00	避難準備*1	下呂市全域
	16:30	避難勧告	萩原町宮田、大ケ洞、奥田洞、上上呂 下上呂、山之口、尾崎1、尾崎2、尾崎3 四美、野上 [1,178世帯3,371人]
7月7日	12:00	避難勧告	萩原町西上田南部 [5戸333人]
	17:40	避難勧告	小坂町長瀬、赤沼田、落合、湯屋、大洞 [409世帯1,148人]

	21:50	避難勧告	小坂地域全域[713世帯 1,763人] 馬瀬地域全域[403世帯 1,093人]
	22:10	避難勧告	萩原地域全域 [2,375世帯 6,393人]
7月8日	2:30	避難指示	下呂市全域 [12,156世帯 31,571人]
7月9日	16:00	避難指示 避難勧告	萩原、小坂、馬瀬全域 [5,078世帯 14,168人] 下呂、金山全域[7,078世帯 17,403人]
7月12日	11:00	避難勧告及び避難指示解除	下呂市全域
7月13日	18:00	避難準備*1	萩原、小坂、馬瀬地域[5,078世帯 14,168人]
7月14日	22:00	避難準備*1	解除
7月25日	2:00	避難勧告	萩原地域大ヶ洞の一部[7世帯 25人]、小坂地域 小坂町の一部[56世帯 139人]、長瀬の一部[32世帯 84人]・県土木事務所設置の土石流センサー時間雨 量(20mm)超過のため
7月26日	9:00	避難準備*1	萩原地域大ヶ洞(83世帯 276人)・大ヶ洞川避難判 断参考水位到達のため
7月29日	17:30	避難勧告及び避難準備*1	解除

(*1)避難準備・高齢者等避難開始

【避難状況】

地域	避難対象者 (7/6時点)	最大避難者 (7/8 9:00)	受入 避難所数
小坂	1,122世帯 2,911人	82世帯 229人	11
萩原※	3,553世帯 10,164人	341世帯 696人	27
下呂	4,713世帯 11,651人	284世帯 582人	20
金山	2,365世帯 5,752人	48世帯 100人	9
馬瀬	403世帯 1,093人	18世帯 41人	5
合計	12,156世帯 31,571人	773世帯 1,648人	72

※萩原の避難者・避難所には、あさぎりサニーランド入所者 120世帯 120名の
下呂総合庁舎への避難含む。

【介護保険関係施設の避難状況】

◇萩原地域

①福寿苑(萩原町古閑)

7/6、18:00頃、施設北側の河川の氾濫が懸念されたことから、入居者全員(18名)が同一法人が運営する市内の別施設に避難。

7/10、朝の時点で河川の簡易復旧と施設の清掃が完了したことから、入居者全員が施設に戻った。11:30に完了。

②特別養護老人ホーム及び養護老人ホームあさぎりサニーランド(萩原町羽根)

7/7、15:00頃、施設近くを流れる飛騨川の氾濫が懸念されたことから、特別養護老人ホーム入所者67名、短期入所施設利用者5名、養護老人ホーム入所者21名、合計93名が下呂総合庁舎5階大会議室へ避難。

なお、自立度が高い養護老人ホーム入所者27名については、養護老人ホームの

2階に垂直避難。

7/8、3:40頃、市からの避難指示を受けて、垂直避難していた27名が下呂総合庁舎5階会議室へ避難。

7/9、9:00頃、飛騨川の水位が下がったことを確認し、入所者全員(120名)が施設に戻った。同日11:15に完了。



下呂総合庁舎への避難

◇下呂地域

①ハピネス下呂(下呂市森)

7/8、10:00頃、市からの避難指示を受けて、有料老人ホーム入居者全員(15名)が下呂交流会館マルチスタジオに避難。

7/9、15:00頃、飛騨川の水位が下がったことを確認し、入居者全員が施設に戻った。同日19:30に完了。

【指定避難所におけるコロナウイルス等感染症対策】

- ・調査21ヶ所中、入り口での検温実施13ヶ所、聞き取り等8ヶ所
- ・消毒等は全所で入り口に消毒液設置、未着用者にマスク配布
- ・感染予防としてパーテーション設置7ヶ所、他はフィジカルディスタンス確保



小坂地域避難所



【現在の避難者状況】

- ・避難所への避難者なし(ただし、萩原地域大ヶ洞、小坂地域小坂町、長瀬地区の一部については土砂警報等により今後も散発的に避難される方あり)。
- ・市営住宅への入居10世帯(門坂2、赤沼田1、長瀬5、小坂町1、小川1世帯)
- ・飛騨川護岸浸食により避難要請4世帯12人(小坂地域門坂地区榎原)。親せき、知人宅等へ避難。

■被害状況

○人的被害

なし。

○家屋等

被害調査状況（住家のみ）

単位：棟

地域	調査 件数	り災区分							計
		全壊	大規模 半壊	半壊	一部損壊			小計	
					床上 浸水	床下 浸水	浸水 なし		
小坂	92	4	2	6	7	71	2	80	92
萩原	97		4	11	8	72	2	82	97
下呂	13			1	1	11		12	13
金山	12				1	11		12	12
馬瀬	4					4		4	4
計	218	4	6	18	17	169	4	190	218



小坂町門坂



小坂町小坂町



萩原町羽根

○建設部関係

地域	道路		河川		橋梁		箇所計
	路線数	箇所数	河川数	箇所数	橋梁数	箇所数	
小坂	2	2	3	5			7
萩原	6	6	3	4	2	2	12
下呂	1	1					1
金山							
馬瀬							
合計	9	9	6	9	2	2	20



小坂町門坂



萩原町四美



萩原町上上呂



萩原町下上呂



小坂町大垣内

国道 41 号線



萩原町中呂

【主要道路の通行規制】

路線名	場所	規制期間	規制内容	理由
国道 41 号線	小坂町門坂	7/8～8/17 7:00	全面通行止め	路面崩壊
		8/17 7:00～	片側交互通行	
	小坂町大垣内	7/8～7/9	全面通行止め	土砂流出
	萩原町奥田洞	7/8～7/9	全面通行止め	土砂流出
	萩原町中呂	7/8～7/9	全面通行止め	路面冠水
	萩原町宮田	7/8～7/9	全面通行止め	土砂流出
		7/9～8/11	片側交互通行	
三原～金山町中切	7/8～7/9	全面通行止め	土砂流出 路面冠水	
小川	7/8	全面通行止め	路面冠水	
主要地方道 宮萩原線	萩原町山之口	7/12～7/15	全面通行止め	安全確保
		7/15～8/18	時間交互通行	
国道 257 号線	馬瀬黒石	7/8	全面通行止め	土砂流出
	萩原町古関	7/8	全面通行止め	土砂流出
県道 下山名丸線	馬瀬名丸	7/8～未定	全面通行止め	土砂流出
県道 湯屋温泉線	小坂町長瀬	7/8～7/15	全面通行止め	土砂流出
		7/15～未定	片側交互通行	路面損壊
	小坂町赤沼田	7/8～7/21	全面通行止め	土砂流出
		7/21～未定	片側交互通行	路面損壊
主要地方道 下呂小坂線	萩原町跡津～西上田	7/7～7/9	全面通行止め	路面冠水
	萩原町古関～羽根	7/8～7/10	全面通行止め	土砂流出
	萩原町跡津	7/10～未定	全面通行止め	土砂流出
県道 濁河温泉線	小坂町落合	7/13～未定	全面通行止め	路面損壊
県道乗政下呂 停車場線	小川	7/8	全面通行止め	路面冠水

○農業関係被害

地域	生産施設（箇所） （トマト・防護柵等）	農地（筆）	農業施設（箇所） （水路・頭首工・農道 等）	水産施設（箇所） （養魚場）
小坂	31	60	35	2
萩原	60	94	27	
下呂	4		1	
金山	2		2	
馬瀬	14		1	
合計	111	154	66	2

○林業関係被害

地域	林道関係	治山関係
小坂	7路線 15箇所	8箇所
萩原	6路線 7箇所	9箇所
下呂	1路線 1箇所	
馬瀬	3路線 4箇所	5箇所
合計	17路線 27箇所	22箇所



萩原町奥田洞



小坂町古子林道

○市営住宅

小坂	7/7～7/8 長瀬団地2戸に土砂流入
----	---------------------

○上下水道施設

【水道】

萩原	【浅水簡易水道】	
	7/8 6:00	向洞配水池水位低下
	7/9 16:00	上呂地内の漏水箇所仮復旧完了し通水
小坂	【門坂簡易水道】	
	7/8 2:00	松尾浄水場、林道崩壊による橋梁流失による断水
	7/11 8:00	復旧仮設工事開始
	7/12 15:00	復旧仮設工事完了し、通水及び断水解消
	9/29	災害査定
	【小坂簡易水道】	
	7/8 16:00	停電発生（長瀬以南）
	7/9 0:00	湯屋ポンプ場に発電機を設置し、大洞配水池へ送水
	【小坂簡易水道】	
	7/8	大雨により落合浄水場取水不能
7/8 6:30	停電発生	
7/9 16:00	復電	
7/9 22:30	落合浄水場、取水仮復旧	
	現在は、通常取水	

【下水道】

萩原	7/8 1:00 羽根水処理センター浸水により処理不能 <ul style="list-style-type: none"> ・機器等について現在点検中 ・汚泥は県環境整備事業協同組合により 7/15 に引き抜き、萩原及び上呂水処理センターへ移動し処理。 7/16 曝気層2層の内1層清掃（もう1層は7/30清掃） 10/19 災害査定予定 現在、復旧途中ではあるが、放流水水質に異常なし
小坂	7/8 12:00 長瀬地内マンホールポンプ警報盤1基路側崩壊により傾き発生 7/11 17:00 傾きをロープで固定し応急処置 10/5 警報盤移設工事予定
下呂	7/8 湯之島地内（小川屋下）マンホールポンプ制御盤水害により故障 <ul style="list-style-type: none"> ・制御装置について、現在、機器を発注
	7/15 小川地内（杉の子）マンホールポンプ制御盤水害により故障 <ul style="list-style-type: none"> ・制御装置については、仮復旧において稼働中。

○教育施設

下呂中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド冠水による損壊（表層土 10,015 m²、砂場2ヶ所） ・屋外倉庫床上浸水による損壊（木製棚、セーフティマット）
小坂小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ピロティ、プールへの土砂流入
（小中10校）	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎、屋内体育施設等雨漏り（小学校7校・中学校3校）



下呂中学校

○消防団

方面隊	詰所・機庫	車両	機械器具
萩原	第4分団第1部（羽根）消防詰所、床上浸水	第3分団第1部（宮田・大ヶ洞・奥田洞）消防ポンプ自動車故障（走行中に流木がシャーシに挟まる）	
小坂	第2分団第1部（長瀬）消防機庫、土砂流		第2分団第1部（長瀬）消防機庫土砂流

	入により全壊		入により小型動力ポンプ充電器と無線機充電器を損失
--	--------	--	--------------------------



小坂町長瀬白土洞谷土砂流失



小坂方面隊消防機庫

○観光商工関係施設

【小坂地域】

- ・7/6の雨により三ツ滝遊歩道、榎谷林道（からたに、あかがねとよ方面）が通行止め。現在通行可。
- ・小黒川釣り場は施設被害甚大。復旧の目途不明。
- ・中川原キャンプ場は冠水。復旧の目処不明。
- ・県道濁河温泉線が通行できないが、濁河温泉の観光施設は被害の報告なく、旅館も営業を行っている。

【馬瀬地域】

- ・まぜ川上健康農場は、川の増水により水路破損。復旧目処不明。
- ・老谷の森キャンプ場は断水、土砂崩れあり。復旧作業終了し営業再開中。

【下呂温泉地域】

- ・噴泉池は7/1から増水による冠水のため使用中止としていたが、7/7～8の豪雨により大量の土砂が流入。7/22までに復旧作業を実施したが、7/23～26に増水により再冠水。再度、復旧作業実施後開放予定。8/7～ 修繕完了・営業再開
- ・噴泉池の仮設目隠しフェンスが流失。再設置の予定なし。
- ・湯之島河川敷の遊歩道が損傷。湯之島河川敷の源泉塔の化粧石板が剥落。9月に修繕予定。
- ・下呂市湯之島・森地内の雨情公園から湯之島橋下までの阿多野谷せせらぎ小路の歩道ブロック、石垣の破損。9月中に修繕完了予定。

【金山地域】

- ・四ツの滝遊歩道の歩道橋基礎の損傷。8月中旬仮復旧。シーズン終了後に本修繕予定。

【宿泊に関する影響】

- ・市内宿泊施設では、豪雨の影響による宿泊予約キャンセルは約 3,300 人（下呂温泉 2,800 人、小坂地域約 250 人、その他地域約 250 人）※被災直後調べ

【商工事業者】

地域	件数	状 況
小坂	12	店舗・作業所・倉庫の浸水、店舗への土砂流入による商品破損、引水設備の破損による養魚の酸欠死、店舗の損壊、キャンプ場敷地土砂の流出、車両埋没
萩原	20	ヤナ設備の破損・流出、店舗・作業所・倉庫の床下浸水、店舗への土砂流入による商品破損、機械器具・電気設備の浸水・店舗敷地土砂の流出
下呂	5	床上床下（地下室）浸水
金山	3	地下室浸水
馬瀬	3	引水設備の破損、キャンプ場内への土砂流入
合計	43	

○介護保険関係施設

- ・福寿苑（萩原町古関）

7/8、深夜から朝にかけての間に、施設北側の河川で小規模な土石流が発生し、外周フェンスが大破、給湯器一部破損、建物内部への一部床上浸水あり。床上浸水は施設総面積の半分程度。居室は1室のみ浸水。

■主な災害対応状況

○災害対策本部

7/6 13:00 本部設置（以降22回の会議開催）

8/4 17:00 本部廃止（以降は部長会議において復旧・復興対策を協議）

○市長公室関係

8/7 災害対応等検証のため市内全自治会長（町代含む）にアンケート送付。

○総務部関係

【小坂町門坂地区（一部）、岩崎地区への対応】

国道41号門坂地内における道路流失のため、当地区における対応について確認。

- ・住民票・戸籍・印鑑証明・税証明（軽自動車以外）について

広域交付（高山市・飛騨市・白川村）で対応。久々野支所でも交付可能。

ただし、委任状を必要とする申請は不可。

- ・死亡届・火葬について

高山市への届け、火葬が可能。

申請方法について高山市へ確認。

高山市本庁へ電話で予約。火葬場は高山と久々野のどちらか。

届け、火葬許可は久々野支所でも可能。



小坂町門坂地内国道 41 号線

【り災証明書等申請受付・被害認定調査】

- ・り災証明書申請受付開始：7/10 から受付（税務課及び各振興事務所）
- ・被害認定調査：7/16 から 2 体制（前日に広報無線）
- ・り災証明書の交付について、8/3 までに申請された方は郵送にて交付。それ以降に申請された方について、既に調査済みの方はその場で交付、調査未実施の方は後日調査後に郵送にて交付。
- ・豪雨被災者に対する市税の減免等に関するお知らせ HP 掲載。固定資産税、国民健康保険税の減免対象者は把握できているため、対象者と郵送等により直接減免手続きを実施。

【職員の応援体制等】

- ・7/14 付で職員 4 名に小坂振興事務所小坂地域振興課の兼務辞令を発令。期間 7/31 までの応援体制を図る。
- ・任期付(短時間)職員 1 名を採用し、農林部林務課に配置(7/20～9/11、10/1～3/31)。
- ・9/7 付で金山振興事務所職員 1 名を林務課へ。12 月末まで
- ・1/1 付で下呂振興事務所職員 1 名を林務課へ。

○健康福祉部関係

【災害ボランティアセンター開設】

- ・下呂市社会福祉協議会では下呂市地域防災計画に基づき、7/12 に下呂市社会福祉協議会小坂支所に災害ボランティアセンターを初めて立ち上げ。
- ・以降は、被災状況、被災者ニーズに鑑みて随時開設することとし、翌 7/13 からは小坂町民体育館にセンターを設置し対応。
- ・受入れボランティアの状況（小坂地域）

月日	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17
人数	248	42	中止	32	30	26

うち団体	27	4		-	-	-
時間	9:00～ 15:30	8:30～ 13:30		8:30～ 16:00	8:30～ 16:00	8:30～ 15:30

月日	7/18	7/19	7/20
人数	63	休み	14
うち団体	-		-
時間	8:30～ 12:00		8:30～ 12:00



小坂地域におけるボランティア活動

※小坂地域の方は人数に含まず。

※市外のボランティアの募集は行わず、来た人に対しては、健康チェックを行い、出来る限り人と接しない場所での作業を依頼した。

【被災者相談会】

- ・8/13に星雲会館、8/18に小坂ふれあいセンターにて開催。罹災後の各種手続きの相談に市役所各部署が対応したほか、法テラス岐阜の弁護士や社会福祉協議会、岐阜県行政書士会の皆さんによる相談も併せて実施。

【こども園、子育て・保育ステーション】

〔被災状況〕

- ・被災なし。
- ・おさかこども園では水道の濁りが解消しないため、7/13～17まで主食持参とし、副食は揚げ物で対応した。

〔臨時休園等〕

- ・7/6 給食後に緊急降園
- ・7/7～10 臨時休園
- ・7/14 萩原、小坂、馬瀬地域は自宅待機。下呂、金山地域は、家庭保育ができない家庭の子どものみ保育
- ・7/27 萩原町大ヶ洞に警戒レベル4（避難勧告）及び警戒レベル3（避難準備・高齢者等避難開始）発令中のため、みやだ子育て・保育ステーションは休園。園児はおさかこども園へ送迎し保育した。こども園6園、子育て・保育ステーション2園については、通常保育。

[おさかこども園の通園関係]

- ・湯屋方面への通園バスは運休。保護者による送迎対応。
- ・岩崎以北には該当園児なし。

○環境部関係

【災害廃棄物処理事業の状況】

- ・7/9 災害廃棄物仮置場指定

きこちゃんスタジアム駐車場（長瀬）・・・小坂地域対象

南飛騨健康増進センター南側駐車場（四美）・・・萩原、馬瀬地域対象

※下呂、金山地域はクリーンセンター直接受付



- ・7/10 被災地区区長へ災害廃棄物持込みの説明
期間：7/11～22
時間：9時～12時 13時～16時
分別内容、許可証提示等
- ・7/11 持込み開始
① 可燃ごみ ②可燃粗大ごみ ③たたみ ④布団、じゅうたん類
⑤木くず ⑥ガラス、びん陶器類 ⑦鉄くず ⑧混合粗大ごみ ⑨特定家電
⑩小型家電類 等
- ・7/13 大雨警報発表のため受入れ停止（小坂は午後より再開）
- ・7/16 小坂地域仮置場は満量のため閉鎖（7/17 から四美1本化）
- ・7/22 萩原地域仮置場（四美）受付終了 ※以後個別相談対応
- ・7/23 職員ならびに業者による集積所からの搬出開始
- ・8/7 小坂地域仮置場 廃棄物撤去完了
- ・8/31 萩原地域仮置場（四美） 廃棄物撤去完了
- ・9/12 市職員ボランティアによる萩原地域仮置場清掃作業
- ・9/30 災害廃棄物処理事業報告（環境大臣あて）災害廃棄物量 424 t（解体家屋分除く）

【小坂町門坂地区（一部）、岩崎地区への対応】

- ・国道41号門坂地内における道路崩落により、当地区におけるごみ収集ならびにし

- 尿汲み取りが行えなくなったため、高山市へ委託（7/17 から収集）
- ・8/17 国道仮復旧により通常（下呂市）収集に変更

○教育部関係

【臨時休業等の状況】

- ・気象警報発表による臨時休業 7/6～10、14、27、28（合計8日間）市内全小中学校
- ・通学路安全確保等による臨時休業 7/13 小坂小学校のみ

【児童生徒の通学対策】

小坂小学校	① 湯屋、大洞、落合地区 31名 県道小坂湯屋線通行止 ・保護者による送迎 サイクリングロード経由して小坂小へ ※赤沼田3名、松原1名は通常のスクールバス対応 道の駅「はなもも」⇄小坂小 ② 長瀬地区 12名 長瀬地区内及び川井田地区内に危険箇所あり ・スクールバス対応 赤沼田方面からのスクールバスに乗車 ③ 坂下地区 6名 通学路の一部通行止め及び危険箇所あり ・保護者が矢ヶ野地区まで送迎、矢ヶ野通学班で登校 ④ 岩崎・榎原地区 4名 国道及び橋の通行遮断 ・岩崎3名、榎原1名は親戚等仮住まいからの通学 ⑤ 無数原地区 11名 通学路の一部不安な箇所あり（大垣内地内） ・7/14～17 保護者による送迎 ※地区内保護者で決定した
小坂中学校	湯屋、大洞、落合地区 11名 県道小坂湯屋線通行止 ・保護者による送迎 サイクリングロード経由して小坂中へ ※岩崎・榎原地区の在籍生徒なし
馬瀬小学校	数河地区 6名 高山方面へのう回路になったため通行量激増 ・黒石方面スクールバスに乗車して通学
尾崎小学校	尾崎地区 通学路の一部変更 山之口、尾崎地区 地域住民による通学見守り、下呂警察署によるパトロール強化 ※高山方面へのう回路になったため通行量激増

○消防本部関係

【消防団出動実績】

単位：人

方面隊別	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10
本部		4	4		
萩原	45	263	237	34	
小坂	4	89	80	52	6
下呂	90	188	219		
金山	40	22	131		
馬瀬		3	48		
合計	179	569	719	86	6

方面隊別	7/11	7/12	7/13	合計
本部				8
萩原	41	28	8	656
小坂	75	80		386
下呂				497
金山	2		2	197
馬瀬	31			82
合計	149	108	10	1,826

消防団小坂方面隊による活動



○金山病院関係

【在宅療養患者への対応】

- ・避難指示を受け、在宅療養で人工呼吸器をつけている患者（1名）、吸引している患者（1名）を受け入れ。
- ・停電に備え、当院を利用する在宅酸素療養患者の機器の状況について、委託業者に確認を依頼。

【他院通院患者の受け入れ】

- ・災害により、他院に通院が困難となった透析患者（1名）を受け入れ。

【手術の延期】

- ・災害により手術を依頼していた医師が来院できなくなり、手術を延期。

○小坂振興事務所関係

【小坂町岩崎地区への対応】

- ・岩崎地区住民生活支援対策業務の実施。
- ・10月末までの毎週金曜日に高山市久々野町までの予約式無料買い物タクシーを運行。

■近隣市等からの支援状況

- ・全国市長会の紹介により熊本県熊本市より災害マネジメント支援2名（熊本市職員 7/10～14）
- ・被害情報入力支援、延べ2名（岐阜県職員 7/10～11）
- ・岐阜県及び市町村災害相互応援協定に基づく
災害マネジメント支援2名（岐阜県職員 7/14～7/22）

- ・岐阜県林政部災害時応援職員派遣要綱に基づく
 林務担当職員 7/15～7/22（岐阜県治山課職員 1 名）
 7/27～8/ 7（岐阜県加茂農林事務所職員 1 名）
 7/27～7/29（岐阜県恵那農林事務所職員 1 名）
 7/30～7/31（岐阜県恵那農林事務所職員 1 名）

■他機関等支援の状況

- ・中部電力パワーグリッド（株）延べ 2 名（7/8～10）
- ・気象庁岐阜地方气象台、延べ 2 名（7/10～7/16）
- ・岐阜県警広域緊急援助隊 20 名（7/12～13）
- ・国土交通省（TEC-FORCE）被災状況調査 4 名（7/10～7/16）
- ・国土交通省（中部道路メンテナンスセンター）現地調査 4 名（7/15）

■見舞金、寄附金、支援物資等

○災害見舞金（自治体等からのもの）

17 件 1,999,994 円

○ふるさとチョイス災害支援特設サイト

2,736 件 41,708,130 円（申し込みベース）

○支援物資

多数あり。申し込み停止中。



TEC-FORCE による状況調査

○災害義援金

日本赤十字社は令和 2 年 7 月の豪雨災害により被災した全ての県を対象とした災害義援金（複数県対象）と岐阜県内で被災した市町村限定（岐阜県対象）の募金を実施。岐阜県対象は 9/30 終了、複数県対象は 12/28 まで継続中。

日本赤十字社・共同募金会・岐阜県に寄せられた義援金は、岐阜県での義援金配分委員会を経て、下呂市へは第一次配分として、全壊 2,320 千円、半壊 1,160 千円、床上浸水 773 千円/世帯の配分があり、対象の被災世帯へ配分（口座振込）、今後も配分される予定。

■災害関連法の適用等

○災害救助法

7/8 災害救助法施行令第 1 条第 1 項 4 号適用

○「特定非常災害」指定

7/14 閣議決定

○被災者生活再建支援法

7/31 被災者生活再建支援法施行令第 1 条第 6 号適用

○「激甚災害」指定

8/25 閣議決定

■被災者支援関係

○各種税・使用料等の減免申請状況

種 別	件数	種 別	件数
固定資産税	36	保育料	2
国民健康保険税	15	市県民税	0
上下水道料金	78	後期高齢者医療保険	0
災害廃棄物処理	301	介護保険料	0

○災害救助法準用による市営住宅家賃等免除

免除期間 2年間（令和2年7月～令和4年7月）

対象世帯 5世帯

○市営住宅（小坂：長瀬団地）災害による退去減免

減免期間 6ヶ月（令和2年8月～令和3年1月）

対象世帯 5世帯

○賃貸型応急仮設住宅供与事業による家賃等免除

免除期間入居日から2年間。

対象世帯 3世帯

○国保・後期高齢者医療の一部負担金免除

医療機関等で受診時に支払う一部負担金の支払いを免除。

免除期間 7/8～10/31

住家の全半壊、床上浸水の被災をされた方に免除証明書を送付。

・国保 16世帯 25人 ・後期高齢者医療 29人

○床下浸水世帯への支援

公的支援制度では対象とならない床下浸水世帯（住家対象）への支援金支給として、9/3 議会定例会にて補正予算可決（補正予算額 17,975 千円）。支援金額は複数世帯 100 千円、単身世帯 75 千円。

9/16 より申請受付開始。

3 検証結果

本内容は、令和2年8月に市内全自治会長（金山地域の町代含む111地区）に実施したアンケート、9月に実施された市長と市民の懇話会のほか、関係団体との意見交換会での意見をもとに検証したものです。

また、平成30年7月豪雨災害検証を踏まえた課題についても、再度検証しました。

【コロナ禍における避難について】

- ・大きな被害を受けた地区では、コロナを心配するより命を守る行動としての避難が優先された。
- ・感染症対策による一時避難所の狭さ、備品資機材の不足、長期対応への不安の回答は多数あり。
- ・分散避難または安全な場所への避難として、一時避難所以外への避難を自発的に取り決めている地区も多い。

【実効性のある避難対策について】

- ・2:30の避難指示発令はやむを得ないとの回答が多かったが、真夜中で避難行動に移行することが難しかった、避難をためらった事例も。
- ・水害時において、避難するには適切でない避難所（所在地はもちろん、経路に問題のある避難所）が多い。
- ・地区役員や防災隊、消防団による避難への声掛けや誘導事例が数多くあり、共助の精神は根付いている。
- ・避難行動、誘導、避難所運営、避難者の把握に関しては、地区によって取り組みにかなりの濃淡がある。

【災害対応、復旧対応について】

- ・避難情報発令時に、個人として、地区として、とるべき行動がはっきり分からない。
- ・南北に長い下呂市。地域によって雨の降り方も違い、危険の度合いも違う。一律の避難情報発令はどうか。
- ・今回の被災箇所には、従前から改良等を要望してきた箇所も多い。
- ・避難所にはなかなか情報が入らない。
- ・ボランティアについては、コロナ対応から参加者を市内に限定したこと、また、ボランティア参加者の作業内容ニーズと被災者ニーズとのマッチングが困難であったことなどが課題として挙げられた。

【平成30年7月豪雨検証を踏まえた課題再検証】

- ・平成30年7月豪雨災害後、ハード面の対応として掲げていた水位計、雨量計の増設や、新しいテレビ会議システムの構築は完了しているが、「危機管理に備えた各振興事務所の職員数について」（下記に詳細記載）は課題のままである。

「平成30年7月豪雨災害を振り返り」より抜粋

危機管理に備えた各振興事務所の職員数について

- 今後、5年後、10年後を見据えるに、特に小坂・金山・馬瀬地域に在籍する職員数の減少が予測される中、危機管理体制をどのように維持または強化していくのが課題である。
- 今後、職員数が減少していくと予測される中、災害時における地域巡回や、電話での対応など判断を瞬時に求められた時、地理的な認識の少ない他地域からの応援職員では対応が困難であることが予測される。そのため、災害状況の把握や対応等が遅くなる恐れがあるため、合理的な対応策を早急に検討する必要がある。

4 検証結果を踏まえての対応策

【コロナ禍における避難について】

- ・コロナ禍において感染を危惧することは大切ですが、命を守るため避難行動が消極的になってはいけない。3密対策で避難所の定員数が減っているなか、避難所以外の避難先の選択肢を増やすことが必要であり、民間施設活用の促進を図る。
- ・市民それぞれも、避難先の選択肢を増やすことを検討していただくとともに、その周知を図る。
- ・避難所における感染症対策資機材の充実。

【実効性のある避難対策について】

- ・避難情報の発令だけでは、避難行動に移らない方が多い。早め早めの行動を促すため、降雨や河川水位などの事前情報を提供し、危機感を共有する体制を構築する。
- ・避難所開設、運営訓練の充実。

【災害対応、復旧対応について】

- ・局所化する災害には、各自治会での防災活動が重要になる。各自治会が自発的な防災活動に取り組む体制づくりの推進。
- ・今回の災害は、市内に数多くある谷や溪流による「線状」で発生している。ハード面での対策は時間もかかるため、市民それぞれが土砂災害ハザードマップ等で危険個所を再度確認し、常日頃から災害の可能性を意識することを啓発していく。
- ・避難所における情報取得として、様々な媒体を利用した手段の構築。
- ・ボランティアについては、設置運営する下呂市社会福祉協議会と、被災者、参加者のニーズに応えるために作業範囲、作業内容について協議し、必要な協定を締結する。

【平成30年7月豪雨検証を踏まえた課題再検証】

- ・土石流災害が発生し、現在も危険な状態にある小坂地域においては、各部局協力のもと横断的な体制を敷いているが、無理を強いている部局もあり、場当たりの体制でしかない。
また、下呂市地域防災計画では災害時における各部局の活動体制、分担任務が定められているが、機能していないことが多い。

このことから、災害時に適切な運用ができるよう下呂市地域防災計画修正に着手する。